

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M380-42-9910

3807グループ

タイマX、Y、A、B使用上の注意事項

対象品種

3807グループ

注意事項 1

PWMモード選択時、PWM“H”期間を“00₁₆”に設定した状態（全区間“L”出力）から、タイマ値を更新する場合は、「ラッチ及びタイマ同時書き込み」によりタイマ値を設定してください。「ラッチのみ書き込み」は実施しないでください。

*タイマX及びタイマYは、書き込み制御ビットで「ラッチ及びタイマ同時書き込み」又は「ラッチのみ書き込み」を指定できます。

（理由）「ラッチのみ書き込み」によりタイマ値を更新した場合、PWM出力波形に不正パルスが発生する場合があります。（図1参照）

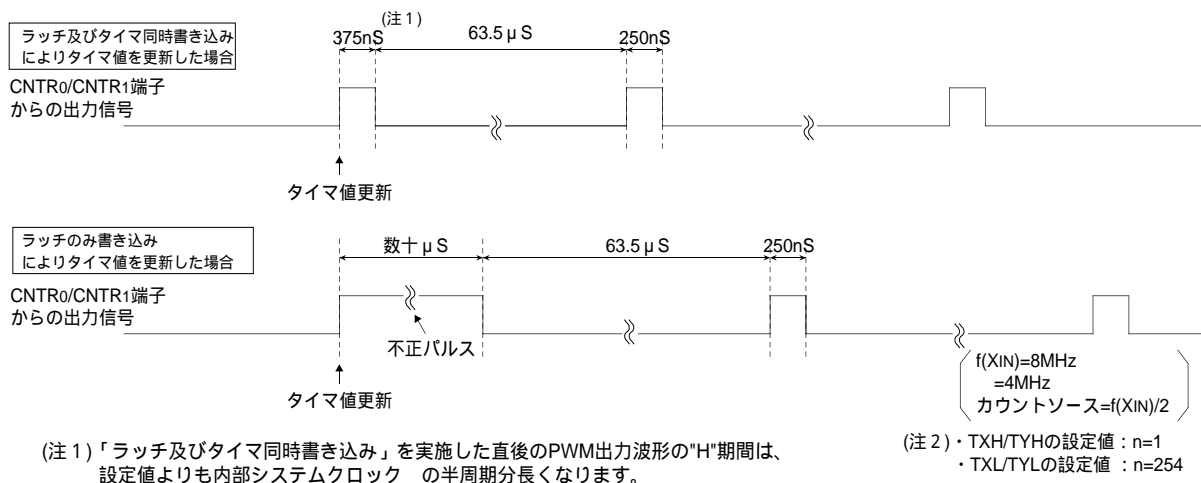


図1. PWMモードのタイミング図

注意事項 2

タイマA及びタイマBのタイマラッチには“0000₁₆”を設定しないでください。

（理由）“0000₁₆”を設定した場合、タイマへのリロード動作が正常に行われなくなります。そのため、割り込みが正常に発生しなくなりリアルタイムポート出力が正常に行われません。タイマラッチへの設定値が“0001₁₆”～“FFFF₁₆”であれば動作上問題ありません。

以上